

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校日本マンガ芸術学院
設置者名	学校法人 敬道学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化教養専門課程	メディアアート学科 (2年制) ・マンガコース ・コミックイラストコース ・小説クリエイトコース	昼間部	2028 単位時間 以上 (2年制)	160 単位時間 (2年制)	
	メディアアート学科 (3年制) ・マンガコース ・声優タレントコース	昼間部	2730 時間以上 (3年制)	240 単位時間 (3年制)	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校法人敬道学園公式 Web サイト「情報公開」-「シラバス」にて掲載
<https://www.ndanma.ac.jp/information/disclose/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校日本マンガ芸術学院
設置者名	学校法人 敬道学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人敬道学園公式 Web サイト「情報公開」にて掲載
<https://www.ndanma.ac.jp/information/disclose/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	学校法人職員	2020.12.14 ~ 2024.12.13	学校運営に関する助言と提案

非常勤	学校法人職員	2020.12.14 ~ 2024.12.13	学校運営に関する 助言と提案
(備考) 他 1 名学外者の理事選任あり			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名（学部等名）	専門学校日本マンガ芸術学院
設置者名	学校法人 敬道学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)	
○授業計画の作成過程学科およびコースに関する教務職員による授業計画会議を経て、期末や年度末に実施される講師会議での意見、要望を検討または反映して担当教務職員により、コースや分野別立案される。 年間授業計画は教務課長および校長の承認を受けて決定される。	
○授業計画の作成・公表時期次年度の年間授業計画（素案）は年度末までに作成される。前期カリキュラム（時間割）と年間予定は 3 月に決定され、在学生には 4 月初旬の学年オリエンテーションにて公表される。後期カリキュラムは 9 月に決定、在学生へ公表される。一般への情報公開は 5 月から 6 月にかけて学院 Web サイトにて情報公開（更新）される。	
授業計画の公表方法	学校法人敬道学園公式 Web サイト「情報公開」にて掲載 https://www.ndanma.ac.jp/information/disclose/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

○科目別の成績評価

各科目の課題に対して期限までに提出して審査、採点を受ける、もしくは指定日時において実技試験を実施する。必要とされるあらゆる技術要素を総合的に判断して採点し、原則として60点以上を合格点とする。

○採点と算出

科目別の担当講師が課題（もしくは実技試験）を審査して採点。修学の成果を考慮して上記の総合点を算出する。

○追試および補習

科目別に合格点を獲得できなかった場合、もしくは必要最低授業時間数以上の出席を果たせなかった場合は追試および補習を受けなければならない。

補習、再試験、追試課題を課すことで単位を補い、最低合格点（60点）を獲得することがある。ただし、著しい成績不良や出席不足の場合はこの限りではない。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

○採点基準

A：優：80～100点

B：良：70～79点 C：可：60～69

点

D：不可：59点以下

○科目別成績評価方法

- ・授業課題の採点とその平均点
- ・試験科目課題の採点
- ・期末試験

客観的な指標の算出方法
の公表方法

学校法人敬道学園公式 Web サイト「情報公開」にて掲載
<https://www.ndanma.ac.jp/information/disclose/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 進級試験、卒業試験、卒業認定基準をクリアすることで本学院を卒業することができる。各試験や認定基準の詳細は、本学院の学則および教育規定を参照。

卒業の認定に関する方針
の公表方法

学校法人敬道学園公式 Web サイト「情報公開」にて掲載
<https://www.ndanma.ac.jp/information/disclose/>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4

①を用いること。

学校名	専門学校日本マンガ芸術学院
設置者名	学校法人 敬道学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校法人敬道学園公式 Web サイト「情報公開」に掲載 https://www.ndanma.ac.jp/information/disclose/
収支計算書又は損益計算書	学校法人敬道学園公式 Web サイト「情報公開」に掲載 https://www.ndanma.ac.jp/information/disclose/
財産目録	学校法人敬道学園公式 Web サイト「情報公開」に掲載 https://www.ndanma.ac.jp/information/disclose/
事業報告書	学校法人敬道学園公式 Web サイト「情報公開」に掲載 https://www.ndanma.ac.jp/information/disclose/
監事による監査報告（書）	学校法人敬道学園公式 Web サイト「情報公開」に掲載 https://www.ndanma.ac.jp/information/disclose/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養専門課程	メディアアート学科 (2年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間部	1700 単位時間以上	344 時 間	261 時 間	1285 時間	0 時間	0 時間
	1890 単位時間(コース選択などで違い有り)						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
130 人		113 人	44 人	15 人	55 人	70 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 1 学年の学期区分は前期 (4 月～9 月)・後期 (10 月～3 月) 制。カリキュラムは主に時間割授業、選択授業、特別授業、研修授業で構成される。
成績評価の基準・方法
(概要) 科目授業での課題採点と期末審査 (進級・卒業認定試験含む) などによる成績評価。59 点以下は不可。再試験もしくは補講補習対象。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学年毎に必修科目・選択必修科目を履修し、必要な単位 (授業時間数) 以上を取得。進級・卒業認定試験に合格すること。
学修支援等

(概要) インターンシップ (選択希望制)、産学協同企画 (選択希望制)、国内研修、海外研修

卒業者数、進学者数、就職者数 (2023 年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数	その他
		(自営業を含む。)	
47 人 (100%)	0 人 (0%)	42 人 (89%)	5 人 (11%)

(主な就職、業界等)

デザイン、印刷、作家、イラストレーター、漫画家、アシスタント、一般就職 (兼業作家)

(就職指導内容)

アンケート調査、進路指導、ポートフォリオ制作指導、学院内企業説明会など。

(主な学修成果 (資格・検定等))

専門士。公募などの受賞 (賞金獲得)。文章検定など。

(備考)

中途退学の現状 (2023 年度の状況を記載)

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
102 人	13 人	13%

(中途退学の主な理由)

経済的事由 (学費)、病気 (心身)、学院生活不適應、成績不振など

(中退防止・中退者支援のための取組)

学院奨学金、学費相談、カウンセリングなど

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養専門課程	メディアアート学科 (3年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間部	2400 単位時間以上	412 時 間	370 時 間	1998 時間	0 時間	0 時間
			2780 単位時間(コース選択などで違い有り)				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		54 人	1 人	15 人	55 人	70 人	
カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)							
(概要) 1 学年の学期区分は前期 (4 月～9 月)・後期 (10 月～3 月) 制。カリキュラムは主に時間割授業、選択授業、特別授業、研修授業で構成される。							
成績評価の基準・方法							
(概要) 科目授業での課題採点と期末審査 (進級・卒業認定試験含む) などによる成績評価。59 点以下は不可。再試験もしくは補講補習対象。							
卒業・進級の認定基準							
(概要) 学年毎に必修科目・選択必修科目を履修し、必要な単位 (授業時間数) 以上を取得。進級・卒業認定試験に合格すること。							
学修支援等							
(概要) インターンシップ (選択希望制)、産学協同企画 (選択希望制)、国内研修、海外研修							

卒業者数、進学者数、就職者数 (2023 年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10人 (100%)	0人 (0%)	9人 (90%)	1人 (10%)
(主な就職、業界等) デザイン、印刷、作家、漫画家アシスタント、一般就職(兼業作家)			
(就職指導内容) アンケート調査、進路指導、ポートフォリオ制作指導、学院内企業説明会など。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 専門士。公募などの受賞(賞金獲得)。			
(備考)			

中途退学の現状(2023年度の状況を記載)		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33人	3人	9%
(中途退学の主な理由) 経済的事由(学費)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学院奨学金、学費相談、カウンセリングなど		

②学校単位の情報 a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)

メディアアート 学科 2年制	250,000円	800,000円	100,000円	
メディアアート 学科 3年制	250,000円	640,000円	100,000円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
<p>学校法人敬道学園公式 Web サイト「情報公開」に掲載</p> <p>https://www.ndanma.ac.jp/information/disclose/</p>		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
<p>本校は、常に教育水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するために授業をはじめとする教育活動や教育環境、学校運営の状況について、自己点検・評価はもとより、企業等、学校関係者等が評価に参画する学校関係者評価委員会（年1回）を設置して客観的な点検及び評価を行い、教育体制の強化を図る。また、評価結果は学校のホームページで公表し、評価結果の活用方法は、頂いた評価・意見を速やかに集約し、校長の責任の下で同年度末までに改善方法を実施し、学校運営の改善に活かすものとする。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別

株式会社クイントエッセンシャル	2024.4.1～2025.3.31	デザイン会社 アート ディレクター
I.C.NAGOYA	2024.4.1～2025.3.31	日本語学校 校長
株式会社ケイズコーポレーション	2024.4.1～2025.3.31	デザイン会社 グラフ イックデザイナー
株式会社 JS コーポレーション	2024.4.1～2025.3.31	広告代理店 支社長
学校関係者評価結果の公表方法		
学校法人敬道学園公式 Web サイト「情報公開」に掲載 https://www.ndanma.ac.jp/information/disclose/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

HP にて掲載 https://www.ndanma.ac.jp/nma/
--